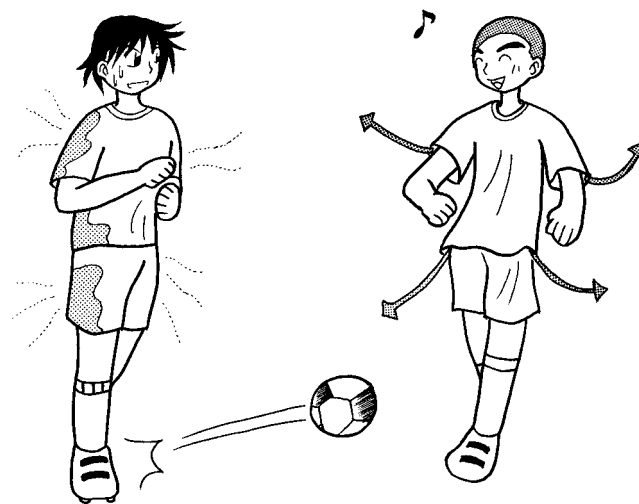


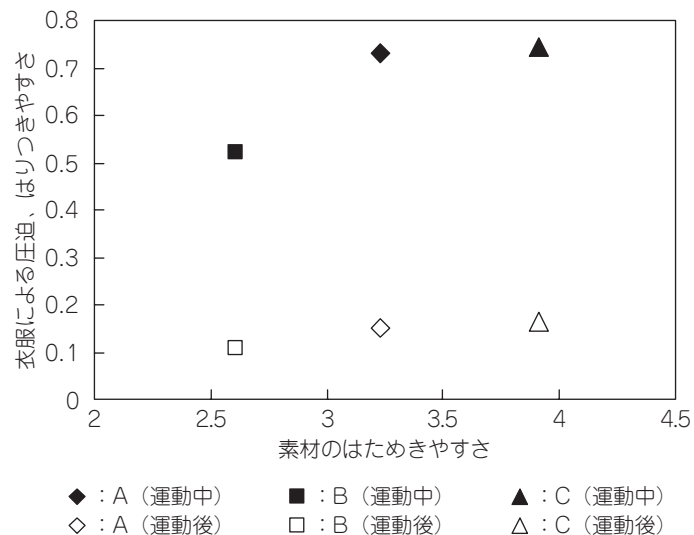
スポーツウェアの「はりつき」がパフォーマンスに及ぼす影響

研究代表者 兵庫教育大学 潮田ひとみ

運動中にシャツやパンツが汗で肌に貼り付くと、動きにくくなって困ったことはありませんか。なるべく運動中に肌に貼り付かないシャツやパンツがあればよいと思うのは、誰もが経験したことでしょう。ではどのような生地がスポーツウェアに適しているのでしょうか。汗をかいても、その汗をすぐ外部へ移動し、衣服内温湿度が低く保たれていることも大切ですが、運動のし易さという面から考えると、生地が運動中に肌に貼り付かず、動作性を損なわないことがより重要です。この研究では、生地の貼り付きやすさの指標を衣服圧と考え、衣服圧が低ければ動作性を損なわないという観点から、そのためにはどのような生地がよいのか検討しています。衣服圧は、運動中に生地が振動したとき、その振動が減衰しにくい（何時前の衣服がはためく）ことにより、低く抑えられます。つまり減衰振動率が低い生地が貼り付きにくい生地だといえましょう。



運動中、肌に貼り付かない生地は、運動性を損なわなくて良い



素材のはためきやすさと貼り付きやすさとの関係